

# 経営比較分析表／団体全体（令和2年度決算）

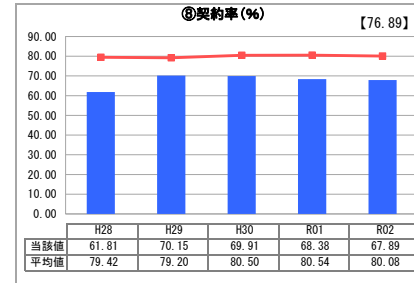
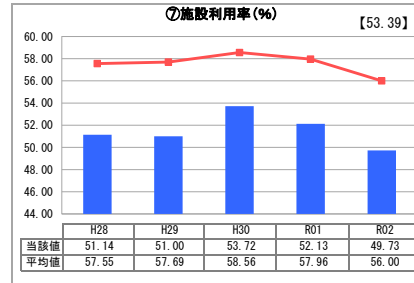
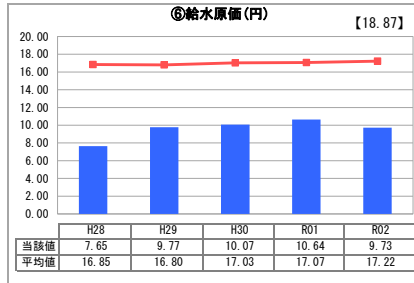
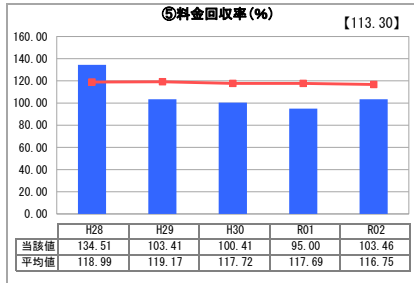
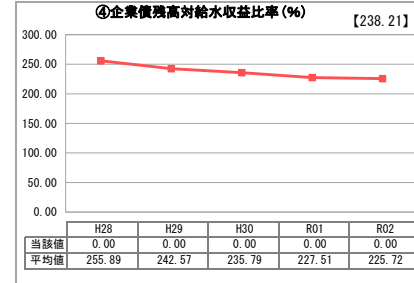
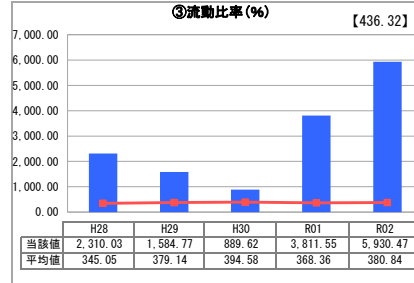
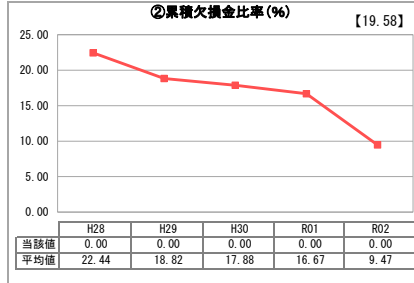
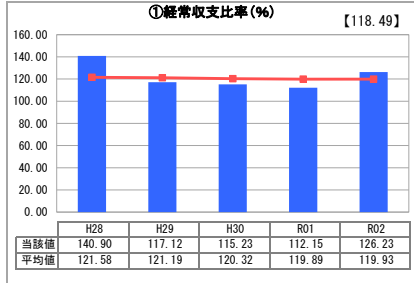
和歌山県  
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	227,860	大規模	3	113,320
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	97.4	35	154,700	非設置	

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

累積欠損金及び企業債務高がないこと、流動比率が全国平均より高いこと、経常収支比率が100%を超えていることなどから、経営の健全性が保たれている。なお、流動比率の数値に変動がみられるが、これは、年度末の工事費の支払いが当年度になるか翌年度になるかの違いによるものである。また、平成29年度から令和元年度までの経常収支比率が僅かに全国平均を下回っているが、これは、施設の老朽化対策工事及び耐震化対策工事による固定資産除却増によるものである。

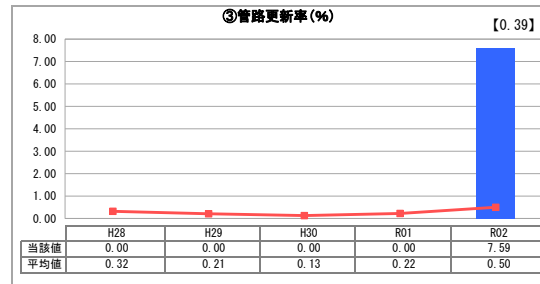
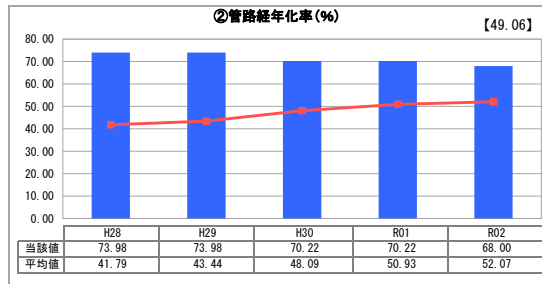
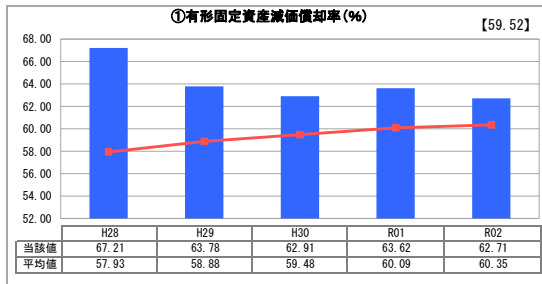
一方で、料金回収率が全国平均を下回っていることから、料金改定を検討し経営改善を図る必要がある。また、契約率及び施設利用率についても全国平均を下回っていることから、新規ユーザを開拓し、施設運用の効率化と契約率の向上を図る必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却比率が高く、管路経年劣化率も高いことから、施設の老朽化が進んでいるため、各事業における施設の重要度、経過年数、健全性に財源の確保などを勘案し、計画的に施設の更新・強靱化・長寿命化を実施する必要がある。

なお、令和2年度の管路更新率の数値は、平成29年度から実施していた施設更新工事が完了したことに伴うものである。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現在、経営は安定しているが、今後も健全な経営を続けるため、施設の更新・強靱化・長寿命化の大規模投資を計画的に実施すると共に資産維持費の導入も含めた料金改定を検討していく。  
また、効率的な施設運用となるよう新規ユーザの獲得に向けた取り組みを行っていく。